



2024年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年12月8日

上場会社名 株式会社 ユークス
コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 橋木 孝志
四半期報告書提出予定日 2023年12月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 072-224-5155

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第3四半期の連結業績(2023年2月1日～2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	3,095	2.8	241	69.4	354	63.6	1,328	
2023年1月期第3四半期	3,183	29.6	787	106.2	973	52.7	799	52.4

(注) 包括利益 2024年1月期第3四半期 1,327百万円 (%) 2023年1月期第3四半期 802百万円 (47.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	158.17	
2023年1月期第3四半期	93.06	92.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第3四半期	3,339	2,428	71.1
2023年1月期	4,759	4,046	84.3

(参考) 自己資本 2024年1月期第3四半期 2,374百万円 2023年1月期 4,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期		0.00		30.00	30.00
2024年1月期		0.00			
2024年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,153	3.4	179	81.1	283	74.1	1,425		169.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期3Q	11,096,000 株	2023年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2024年1月期3Q	2,691,980 株	2023年1月期	2,665,543 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期3Q	8,398,885 株	2023年1月期3Q	8,589,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されつつも、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況であります。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましては、PlayStation5用リモートプレイ専用機「PlayStation Portal リモートプレーヤー」やPlayStation5の新モデルが発表されたり、2023年9月には東京ゲームショウが幕張メッセで開催されるなど、活況を取り戻しつつあります。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおいては、2024年発売予定の「四角い地球に再びシカク現る!? デジボク地球防衛軍2 EARTH DEFENSE FORCE: WORLD BROTHERS」(発売元:株式会社ディースリー・パブリッシング)の開発が進行中であることを発表いたしました。

XR事業分野においては、2023年8月19日に当社独自の技術ALiS ZERO®を使い「ガールズ&パンツァー バーチャルライブ、はじめます!～オオアライで全員集合!!!!!!～」(主催:株式会社バンダイナムコフィルムワークス、株式会社バンダイナムコミュージックライブ)のライブ制作に参加いたしました。また、2023年8月11日～13日にはインテックス大阪で、また、2023年9月1日～3日には幕張メッセで開催されました「初音ミク「マジカルミライ 2023」」(主催:東京メトロポリタンテレビジョン株式会社、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社)のライブ制作に参加いたしました。2023年9月16日～17日開催の「プロジェクトセカイ 3rd Anniversary 感謝祭」(主催:株式会社セガ、株式会社Colorful Palette)においてリアルタイムCGを制作いたしました。2023年10月8日には、株式会社セガと株式会社Colorful PaletteによるiOS/Android向けリズム&アドベンチャーゲーム「プロジェクトセカイ カラフルステージ! feat. 初音ミク」において、「コネクトライブ 3rd ANNIVERSARY Memorial Stage」のリアルタイムライブ配信に参加いたしました。

パブリッシング事業分野においては、DCコミックスのキャラクターをテーマにしたデジタルカードゲーム「DCデュアルフォース」が2023年8月31日にアーリーアクセスに移行し、2023年10月18日からはSteam / Epic Games Storeにおいて配信を開始いたしました。しかし、短期間での黒字化や、将来における初期開発費用の回収可能性も非常に低いと判断せざるを得ない状況となり、「DCデュアルフォース」に関連する資産を減損処理し、特別損失1,655百万円を計上いたしました。

パチンコ・パチスロ分野においては、引き続き複数タイトルの画像開発プロジェクトを受託しており開発が順調に進行しております。

その他、モバイルコンテンツ分野も複数のプロジェクト開発が進んでおります。

また、2023年8月6日から放送が開始されたABCテレビ日曜ドラマ「何曜日にも生まれたの」において、美術協力をいたしました。本ドラマ内では、当社のデジタルカードゲーム「DCデュアルフォース」と当社が開発したプロレスゲーム「AEW:Fight Forever」(発売元:THQ Nordic GmbH)、さらに当社が開発協力したRPG「Tales of ARISE」(発売元:株式会社バンダイナムコエンターテインメント)が使用されました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,095百万円(前年同期比2.8%減)、経常利益は354百万円(前年同期比63.6%減)、「DCデュアルフォース」に関連する資産を減損処理し、特別損失1,655百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,328百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益799百万円)となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,420百万円減少し3,339百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少677百万円、仕掛品の減少36百万円、ソフトウェア仮勘定の減少899百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して198百万円増加し911百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加300百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,618百万円減少し2,428百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失1,328百万円、剰余金の配当252百万円、自己株式の増加103百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年1月期決算短信(2023年3月10日公表)において発表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年11月24日に公表いたしました「特別損失の計上、業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888,164	1,210,307
売掛金及び契約資産	885,242	1,192,338
商品	0	0
仕掛品	63,354	27,270
前払費用	241,002	61,337
その他	61,177	81,354
貸倒引当金	△218	△436
流動資産合計	3,138,721	2,572,172
固定資産		
有形固定資産	31,979	36,445
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	899,440	-
その他	2,329	1,813
無形固定資産合計	901,769	1,813
投資その他の資産		
その他	792,159	831,040
貸倒引当金	△104,852	△102,052
投資その他の資産合計	687,307	728,988
固定資産合計	1,621,056	767,247
資産合計	4,759,778	3,339,419
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	300,000
未払金	254,993	284,172
未払法人税等	150,638	2,956
契約負債	77	2,296
賞与引当金	101,039	141,747
その他	88,444	58,739
流動負債合計	595,192	789,911
固定負債		
長期末払金	200	200
退職給付に係る負債	117,436	120,786
その他	250	250
固定負債合計	117,886	121,236
負債合計	713,078	911,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	466,215	509,957
利益剰余金	4,040,181	2,458,831
自己株式	△957,988	△1,061,607
株主資本合計	3,961,310	2,320,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,773	53,929
その他の包括利益累計額合計	52,773	53,929
新株予約権	32,615	54,259
純資産合計	4,046,699	2,428,271
負債純資産合計	4,759,778	3,339,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
売上高	3,183,415	3,095,221
売上原価	1,980,406	2,066,459
売上総利益	1,203,009	1,028,761
販売費及び一般管理費	415,288	787,430
営業利益	787,720	241,331
営業外収益		
受取利息	8,025	8,550
受取配当金	1,044	1,357
為替差益	175,110	101,396
その他	8,650	4,998
営業外収益合計	192,830	116,302
営業外費用		
支払利息	183	197
自己株式取得費用	981	499
コミットメントフィー	5,964	2,683
その他	37	-
営業外費用合計	7,166	3,380
経常利益	973,384	354,253
特別利益		
新株予約権戻入益	-	4,600
特別利益合計	-	4,600
特別損失		
減損損失	-	1,655,267
特別損失合計	-	1,655,267
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	973,384	△1,296,414
法人税等	174,101	32,022
四半期純利益又は四半期純損失(△)	799,283	△1,328,436
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	799,283	△1,328,436

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	799,283	△1,328,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,160	1,155
為替換算調整勘定	8,606	-
その他の包括利益合計	3,446	1,155
四半期包括利益	802,729	△1,327,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	802,729	△1,327,280
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年10月31日）および当第3四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年10月31日）

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。